

春の全国火災予防運動

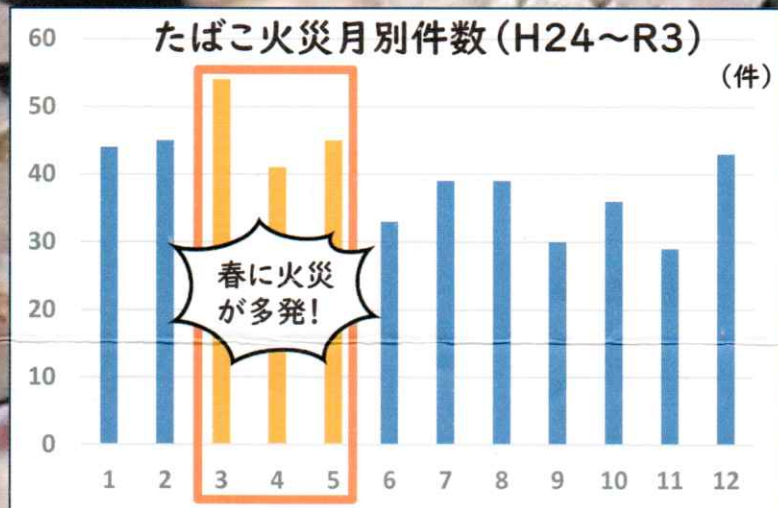
期間：令和5年3月1日～7日

たばこ火災は春に多く発生している

たばこ火災は常日頃の心がけて防げることばかりです！
絶対ポイ捨てしない等、喫煙マナーを守りましょう！



広島市消防局マスコットキャラクター
「もみみん」



※広島市消防局管内における火災件数

実際、こんなことでたばこ火災が発生しています

- ・不適當なところに捨てる
(例) 消えたのを確認せずに、河川敷等にポイ捨てし、枯草等に燃え移って出火。
- ・気づかないうちに火源落下
(例) 室内でたばこを吸いながら歩いていると、火種が布団やカーペットに落下。本人は気づかず、そのまま外出したため出火。



春先(乾燥・強風下)の火災危険について

実験想定

春の空気が乾燥して風の強い気候と、夏の空気の湿った気候を再現し、それぞれ枯草の上にたばこの吸い殻を置き、炎が上がるまでの時間を測定。

(春:湿度30%、風速3～4m/秒)

(夏:湿度80%、風速1～2m/秒)

実験結果

たばこの吸い殻を置いた直後、周囲の枯草に燃え移りくすぶった状態が続き、春の気候は約3分、夏の気候は約10分で炎が上がりました。

実験写真



春:約3分で炎上

夏:約10分で炎上

—実施機関—

広島市消防局・広島市消防団

—協力機関—

海田町消防団・坂町消防団・熊野町消防団・安芸太田町消防団・廿日市市消防団

—協賛団体—

広島市防火連絡協議会・広島市危険物安全協会・広島市興行場防火連絡協議会